
景 気 動 向 調 査 結 果

— 令和2年第I四半期（1月～3月期）分 —

令和2年6月

高山市商工観光部商工課

調査の概要

- 1 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出（層化抽出）し、郵送の方法によるアンケート調査
- 2 調査対象 市内の企業 500社
- 3 調査時期 令和2年 4月上旬
- 4 回収状況 配布数 500社
有効回収数 185社 (有効回収率 37.0%)

※ 業種別回収状況

建設・土木業	34社	(40.5%)
製造業	35社	(37.6%)
卸売・小売業	38社	(37.3%)
飲食業	24社	(30.4%)
旅館業	29社	(36.7%)
その他	25社	(39.7%)

計 185社 (37.0%)

※・農林水産業は、調査していない。

・その他の業種は、「サービス（旅館業除く）・運輸通信・金融保険・不動産業」をいう。

【参 考】

D I (Diffusion Index) 値

D Iとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目ごとの「増加（上昇・好転・長期化）企業割合」と「減少（低下化・短期化）企業割合」の差を示すものです。「上昇（増加など）の割合 - 下降（減少など）の割合」

・はじめに

令和2年4月に実施しました、景気動向調査（令和2年1月～3月期）の結果について、とりまとめましたのでご報告いたします。

・概況

・販売（売上）の動向

前年同期比の産業全体の販売高DI値は▲61.8となり、前回（▲7.2）より54.6ポイント減少した。

前期比のDI値は▲59.5で、前回（▲3.6）より55.9ポイント減少した。

・景気の動向

今期の景気動向について、前期比のDI値は▲64.8となり、前回（▲14.8）より50.0ポイント減少した。

また、来期見込のDI値については、今期より2.5ポイント減少し、▲67.3となっている。

・雇用の状況

今期の雇用している人員が「過剰」と回答した事業所の割合は30.2%で、前回（5.4%）より24.8ポイント増加し、「不足」と回答した事業所の割合は22.4%で、前回（40.4%）より18.0ポイント減少した。

来期について「過剰」と回答した事業所の割合は35.6%で、今期の雇用状況と比較すると5.4ポイント増加している。「不足」と回答した事業所の割合は20.0%で、今期の雇用状況と比較して2.4ポイント減少している。

有効求人倍率については、3月期で1.35となっており、前回調査12月期（1.86）と比較すると0.51ポイント減少している。

・設備投資

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は22.8%で、前回（29.9%）と比較して7.1ポイント減少した。また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合が27.0%で、前回調査（35.9%）からは8.9ポイント減少している。

1. 販売（売上）の状況

前年同期比の販売高D I 値、前期比の販売高D I 値は共に減少傾向

1-1 前年同期比

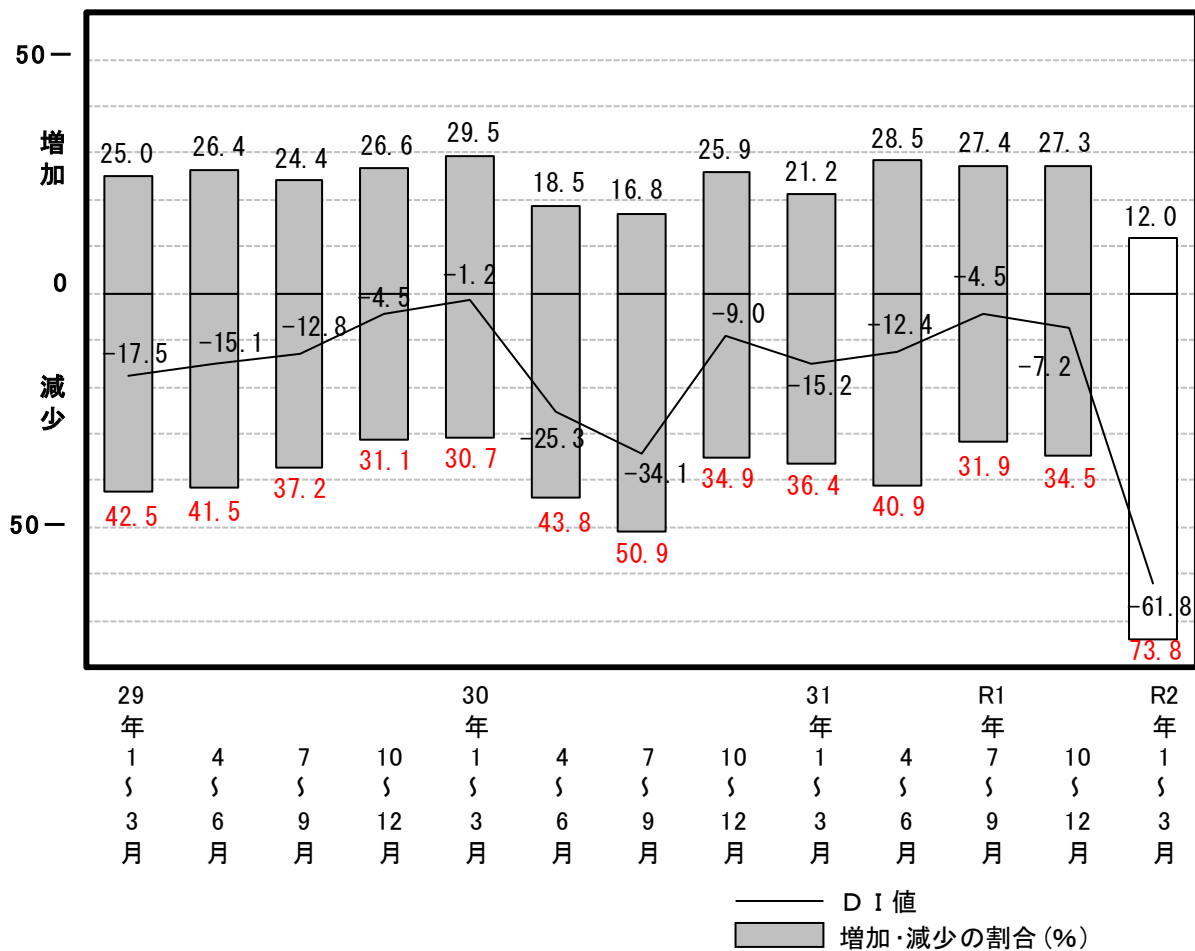
販売高が前年同期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は12.0%で前回(27.3%)より15.3ポイント減少し、「減少した」と回答した事業所の割合は73.8%で前回(34.5%)より39.3ポイント増加した。その結果、今期の販売高D I 値は▲61.8となり、前回(▲7.2)より54.6ポイント減少した。

(第1図 参照)

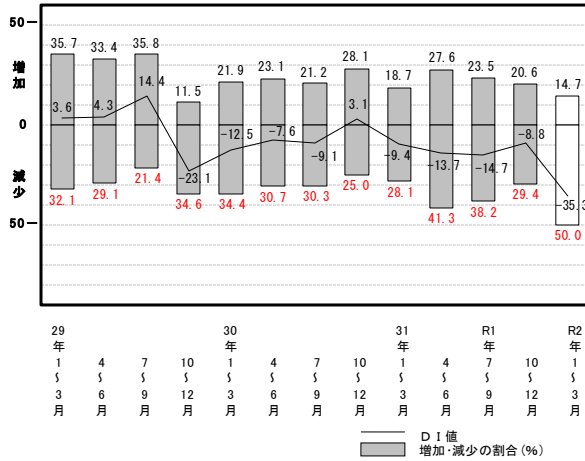
業種別のD I 値を分析すると、全ての業種において、前回調査よりも減少している。

(参考図 販売高D I 値の推移(各業種 前年同期比) 参照)

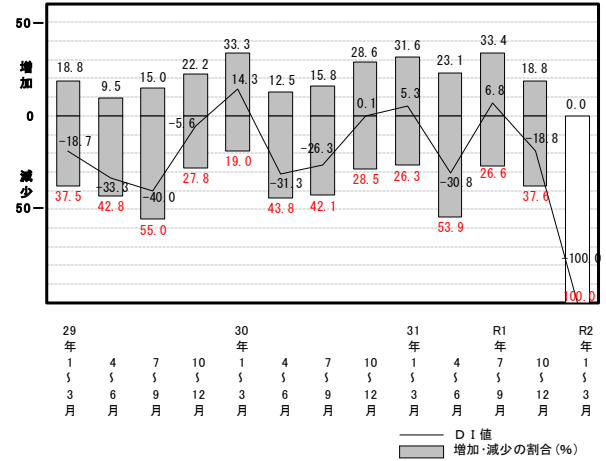
第1図 販売高D I 値の推移(前年同期比)



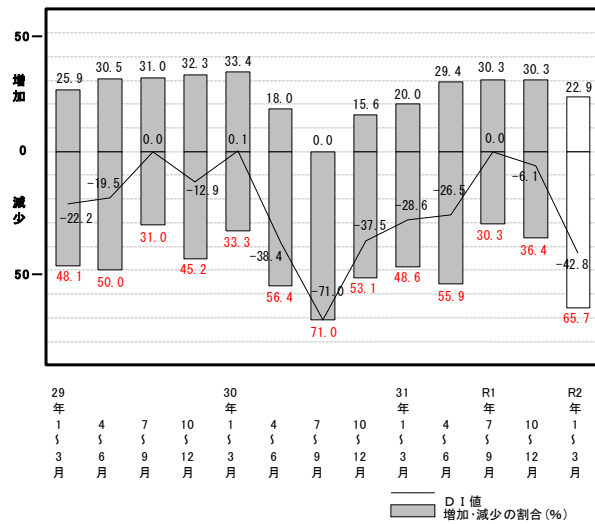
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前年同期比）



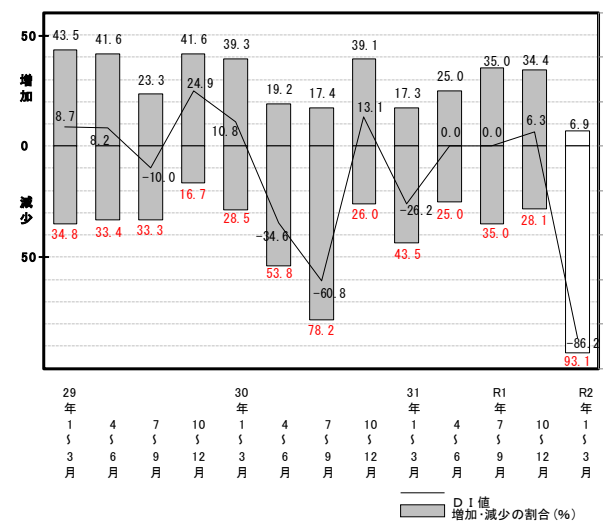
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前年同期比）



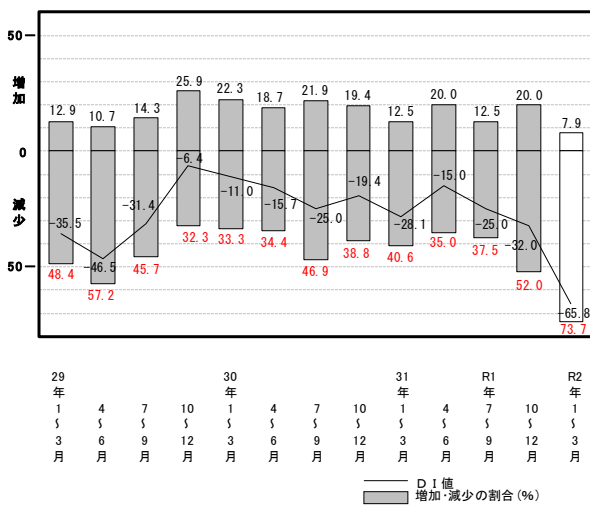
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前年同期比）



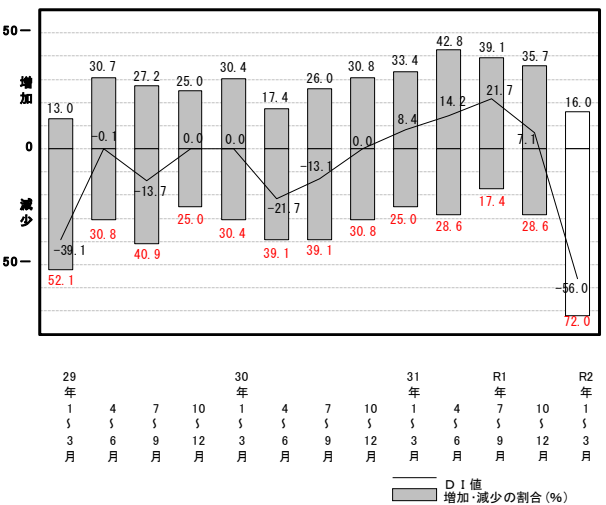
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前年同期比）



参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前年同期比）



参考図 販売高D I 値の推移（その他 前年同期比）



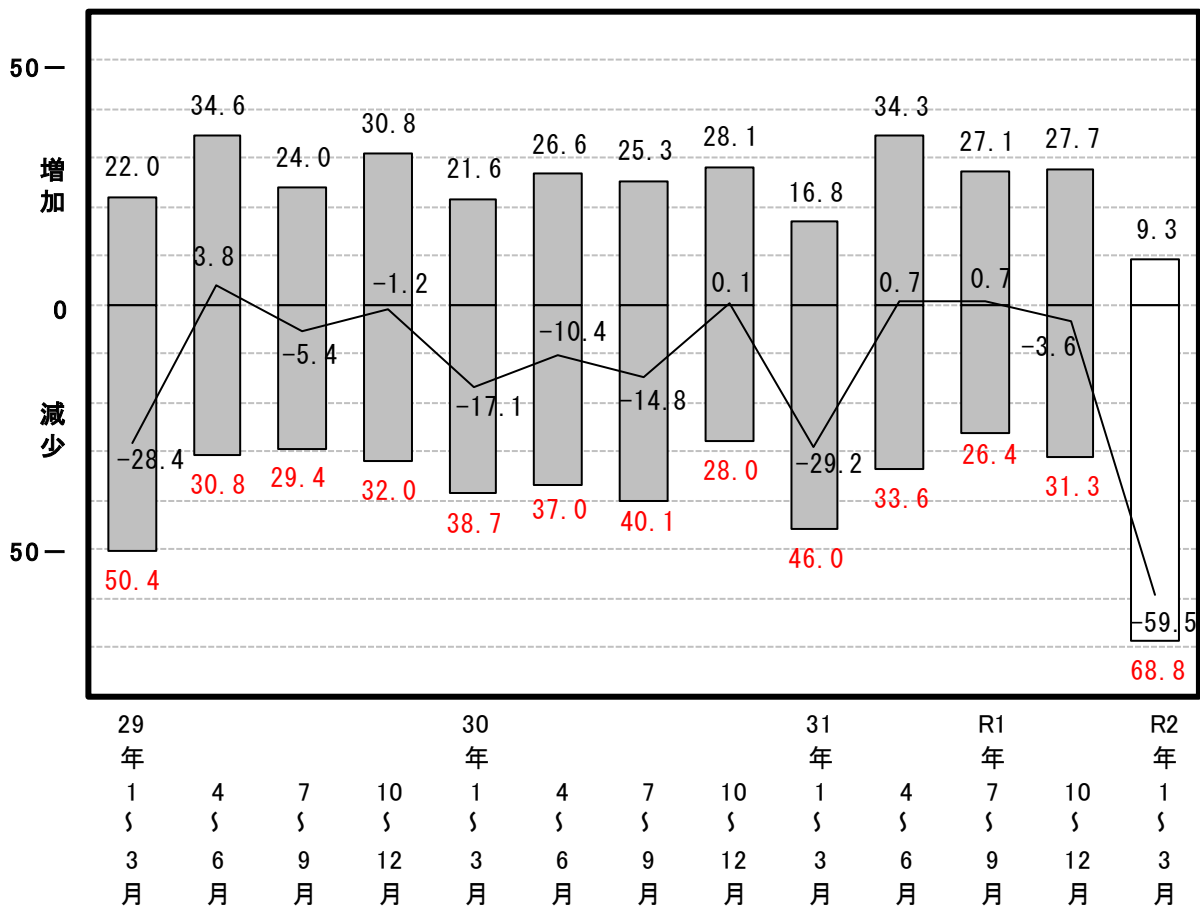
1-2 前期比

販売高が前期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は9.3%で前回(27.7%)より18.4ポイント減少し、「減少した」と回答した事業所の割合は68.8%で前回(31.3%)より37.5ポイント増加した。その結果、今期のD I値は▲59.5となり、前回(▲3.6)より55.9ポイント減少した。(第2図 参照)

業種別のD I値を分析すると、全ての業種において、前回調査よりも減少している。

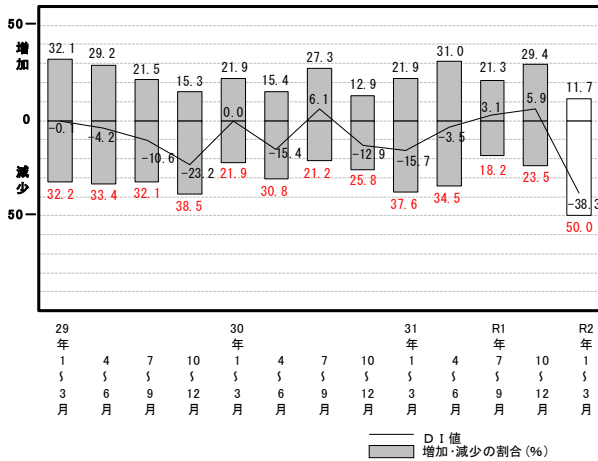
(参考図 販売高D I値の推移(各業種 前期比) 参照)

第2図 販売高D I値の推移(前期比)

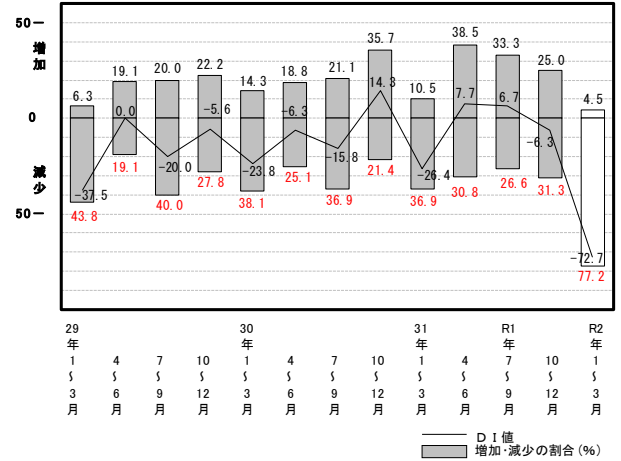


— D I 値
 ■ 増加・減少の割合(%)

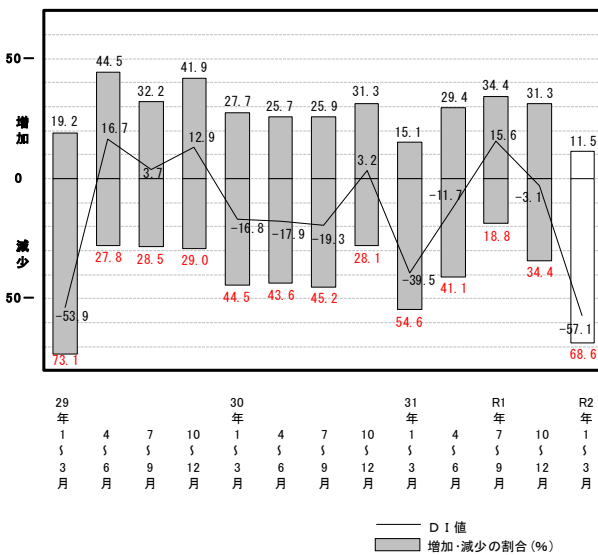
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前期比）



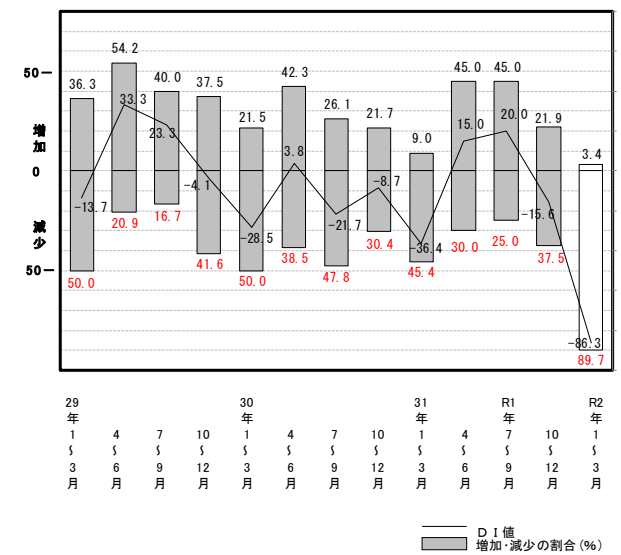
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前期比）



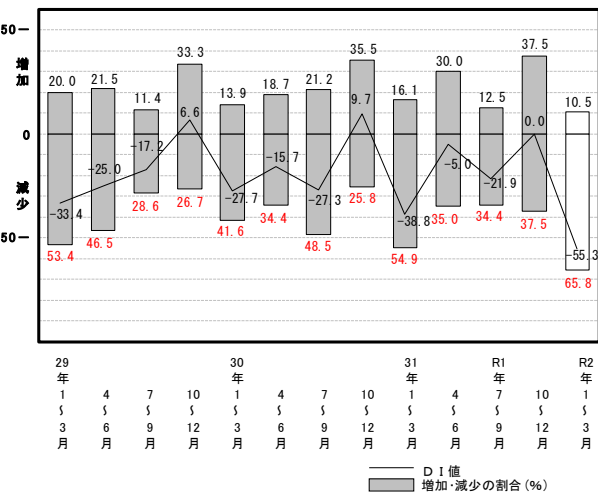
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前期比）



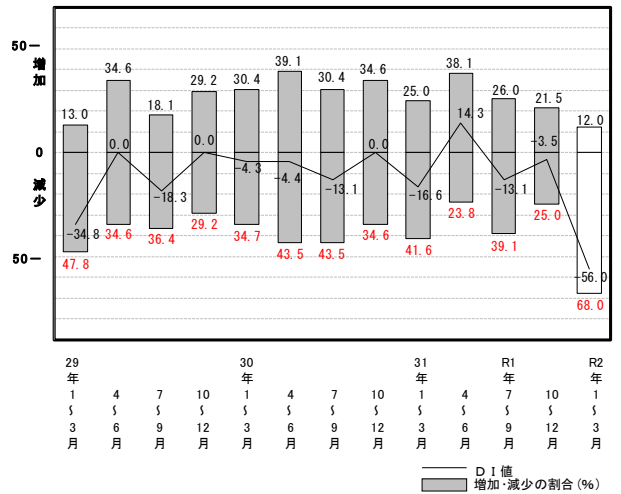
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（その他 前期比）



2. 景気の動向（自社の景気）

景気動向の今期のD I 値、来期見込のD I 値は共に下降傾向

自社の景気動向について今期のD I 値をみると、産業全体としては▲64.8となり前回(▲14.8)より50.0ポイント減少した。(第3図 参照)

前回調査時における来期見込のD I 値は▲30.8(16.0ポイント減少見込)であったことを踏まえると、今期は前回調査時に予測していたよりも、景気が悪化したと考えられる。

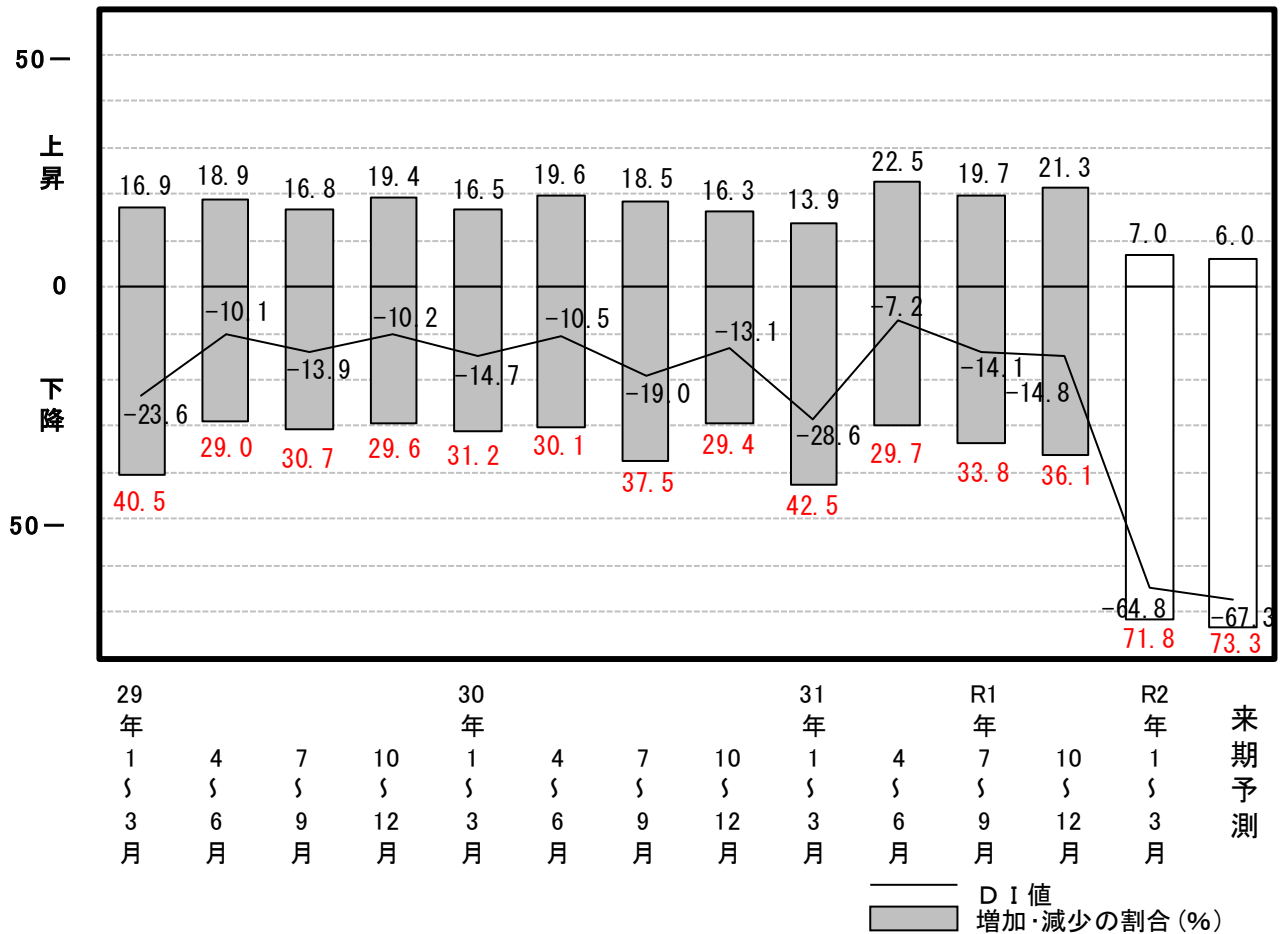
また、来期見込(今期比)のD I 値は▲67.3で今期値より2.5ポイント減少しており、今期よりも悪化する見込みであると考えている事業所の割合が多い。

業種別のD I 値を分析すると、今期は全ての業種において、前回調査よりも減少している。

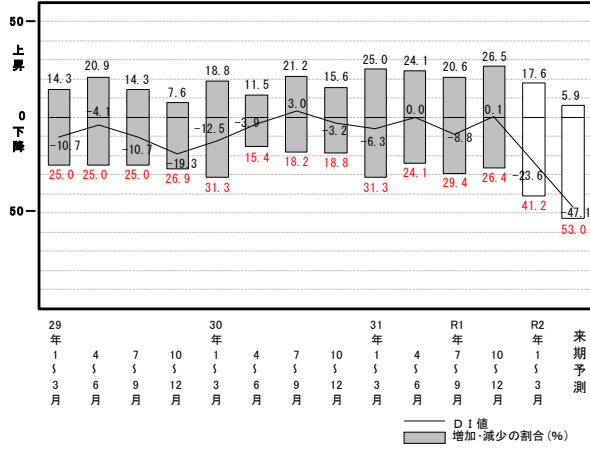
また、来期予測に関しては、「建設・土木業」「製造業」「飲食業」の業種において下降すると予測している。

(参考図 景気D I 値の推移(各業種) 参照)

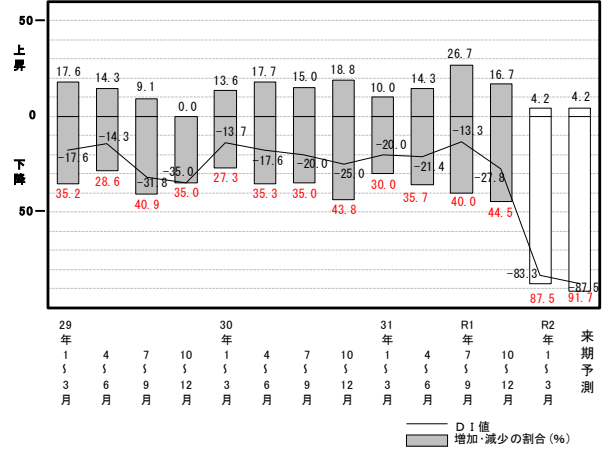
第3図 景気D I 値の推移(全体)



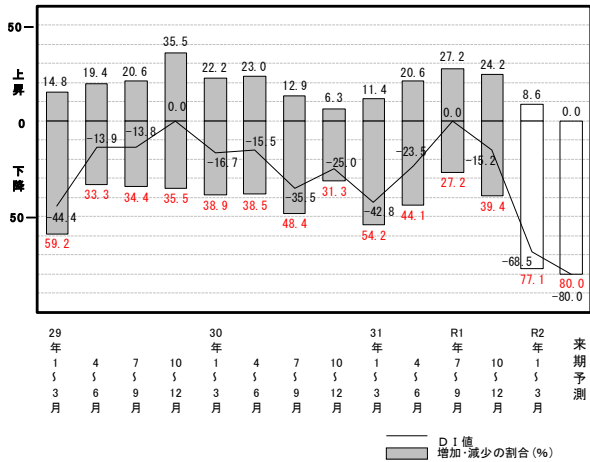
参考図 景気D I 値の推移（建設・土木業）



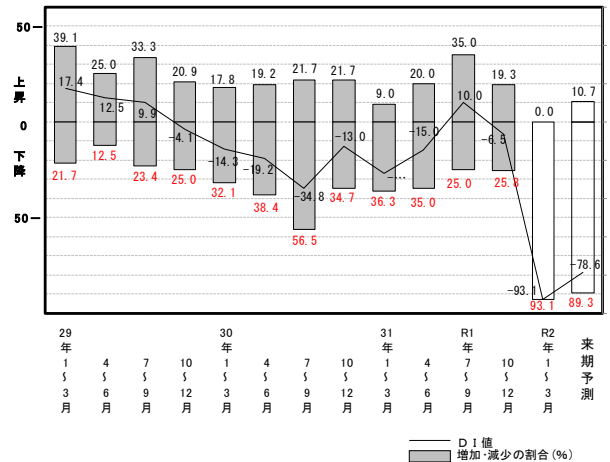
参考図 景気D I 値の推移（飲食業）



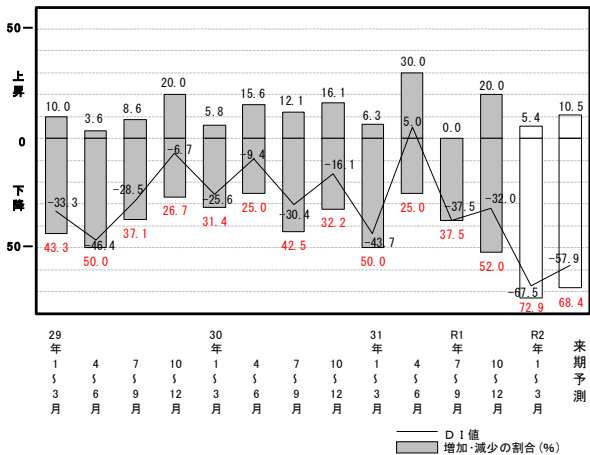
参考図 景気D I 値の推移（製造業）



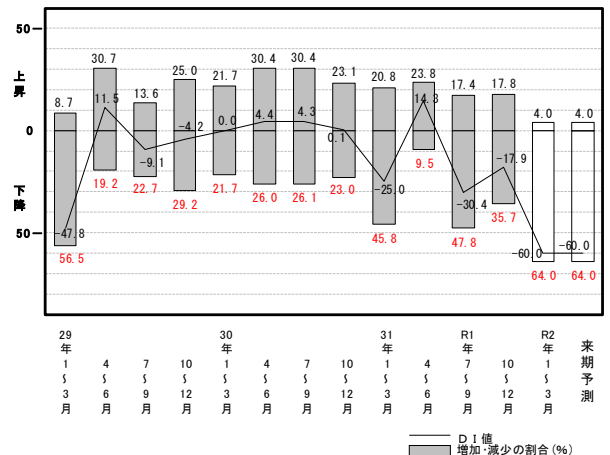
参考図 景気D I 値の推移（旅館業）



参考図 景気D I 値の推移（卸売・小売業）



参考図 景気D I 値の推移（その他）



3. 雇用の状況

雇用状況の「過剰感」は増加、「不足感」は減少傾向

今期において、雇用している人員が「過剰である」「やや過剰である」と回答した事業所の割合は30.2%で、前回（5.4%）より24.8ポイント増加し、「不足している」「やや不足している」と回答した事業所の割合は22.4%で前回（40.4%）より18.0ポイント減少した。

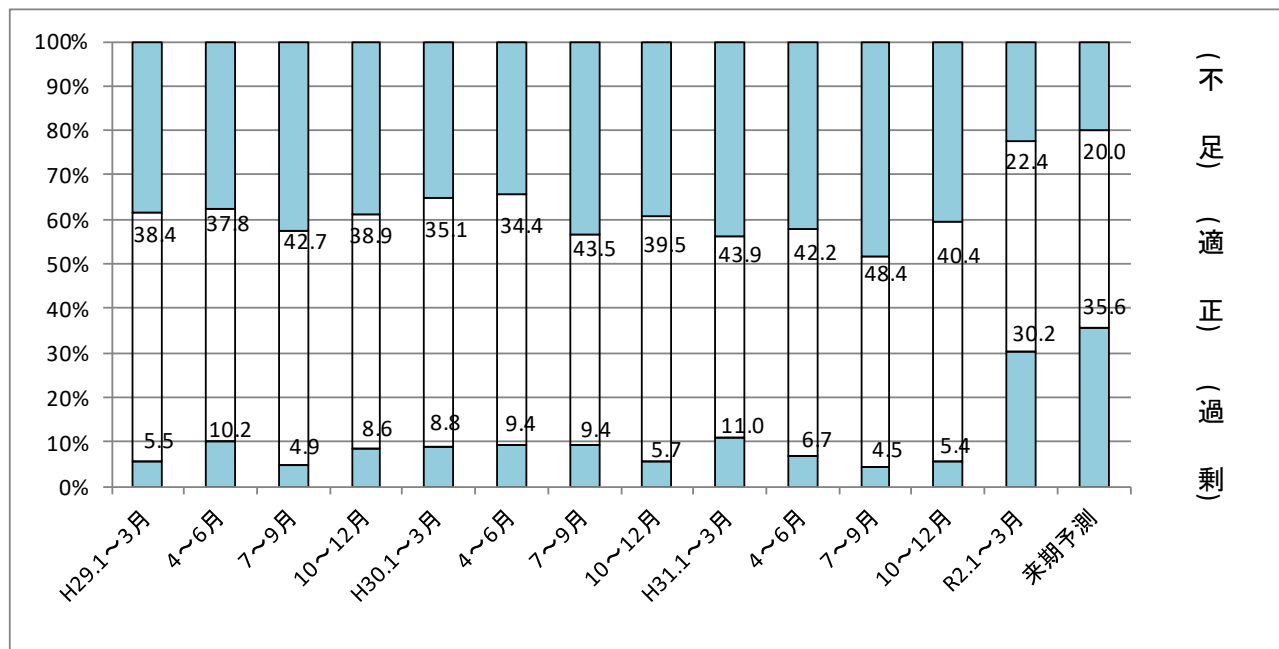
来期予測に関しては、「過剰」が35.6%で今期より5.4ポイント増加、「不足」が20.0%で今期より2.4ポイント減少している。（第4図 参照）

業種別の数値を分析すると、今期は全ての業種において「過剰」と回答している事業所の割合が増加し、「製造業」を除く全ての業種において「不足」と回答している事業所の割合が減少している。

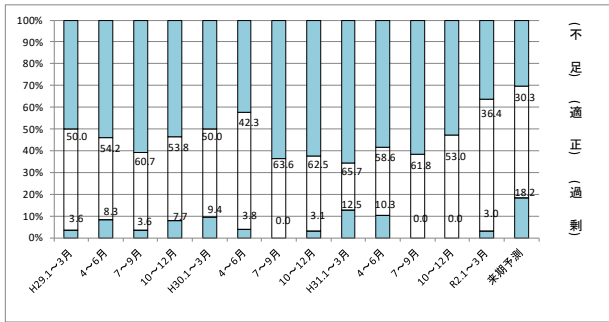
来期予測に関しては、「卸売・小売業」「その他」を除く全ての業種において「過剰」と予測する事業所の割合が増加し、「建設・土木業」「製造業」「卸売・小売業」において「不足」と予測する事業所の割合が減少している。

（参考図 雇用の状況の推移（各業種） 参照）

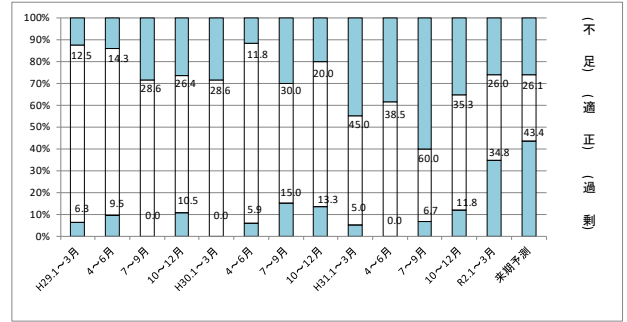
第4図 雇用の状況の推移（全体）



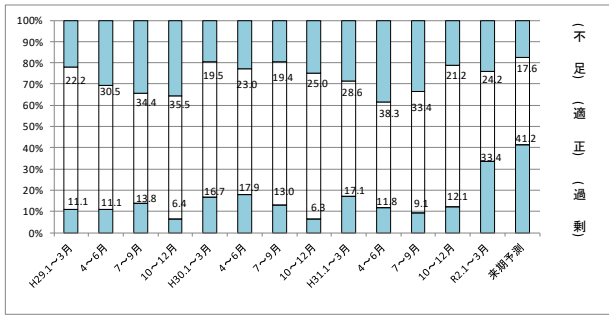
参考図 雇用の状況の推移（建設・土木業）



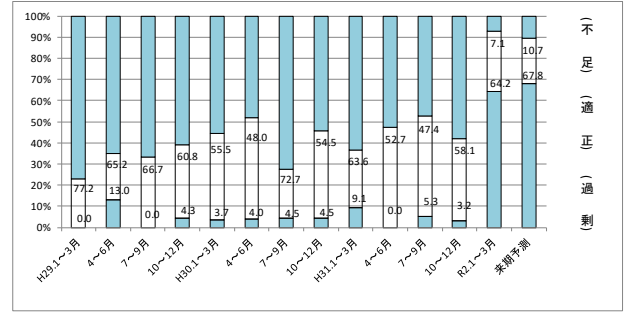
参考図 雇用の状況の推移（飲食業）



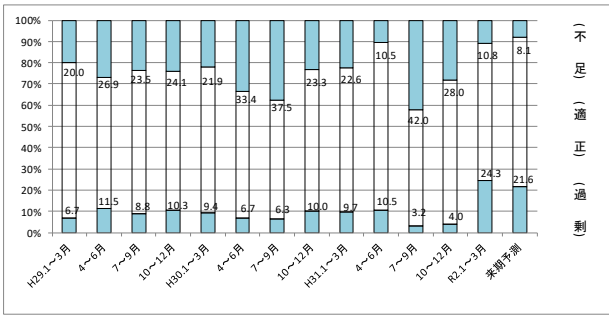
参考図 雇用の状況の推移（製造業）



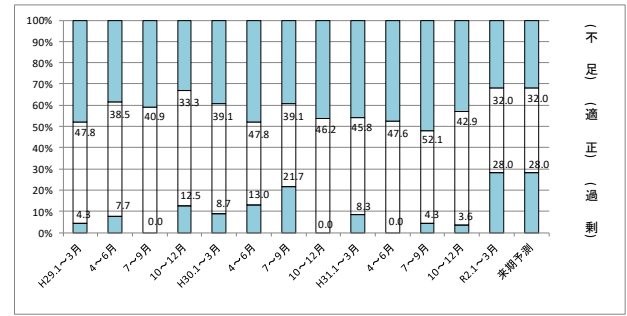
参考図 雇用の状況の推移（旅館業）



参考図 雇用の状況の推移（卸売・小売業）



参考図 雇用の状況の推移（その他）



4. 設備投資

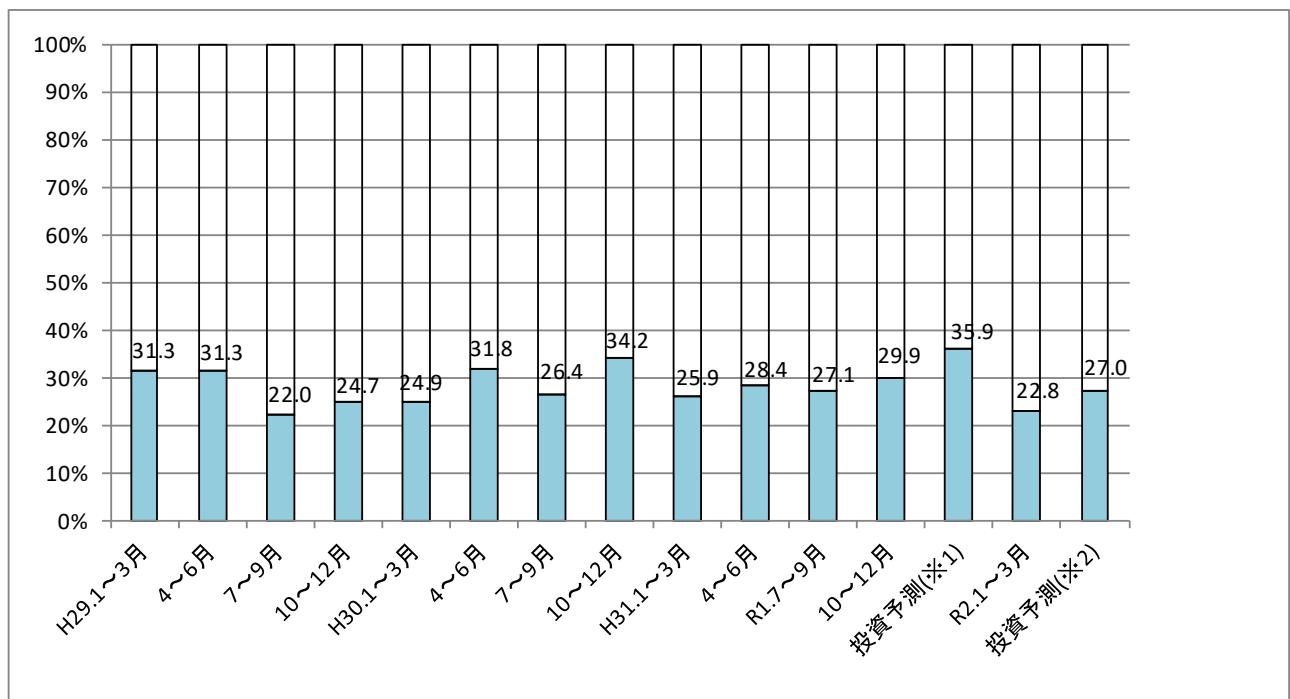
設備投資を行った事業所、 来期以降の設備投資計画はともに減少傾向

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は22.8%で、前回（29.9%）より7.1ポイント減少した。（第5図 参照）また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は27.0%となっており、前回調査時の予測値（35.9%）より8.9ポイント減少した。

業種別にみると、今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は、「飲食業」を除く全ての業種において、前回調査の予測値を下回っている。また、向こう1年の投資計画は、「建設・土木業」「卸売・小売業」「旅館業」の業種において、前回調査の予測値を下回っている。

（参考図 設備投資の推移（各業種） 参照）

第5図 設備投資の推移（全体）



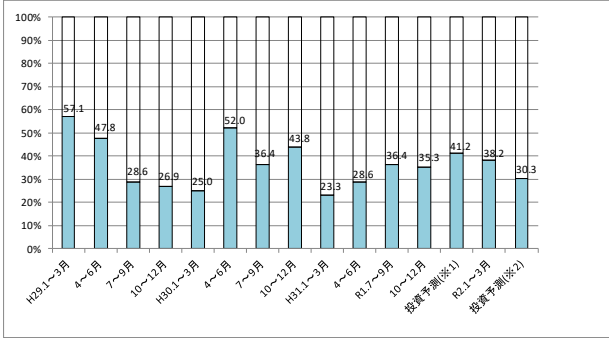
投資予測※1

前回調査（1～3月期）における向こう1年間の投資計画

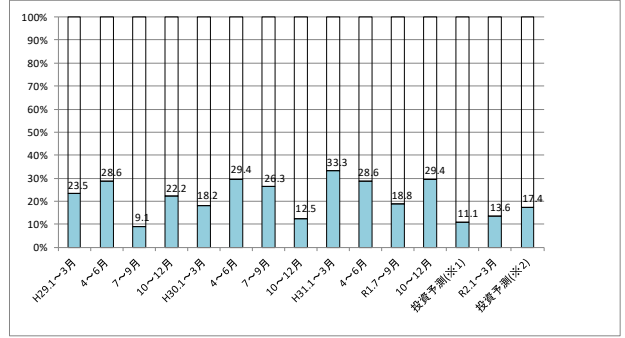
投資予測※2

今回調査（4～6月期）における向こう1年間の投資計画

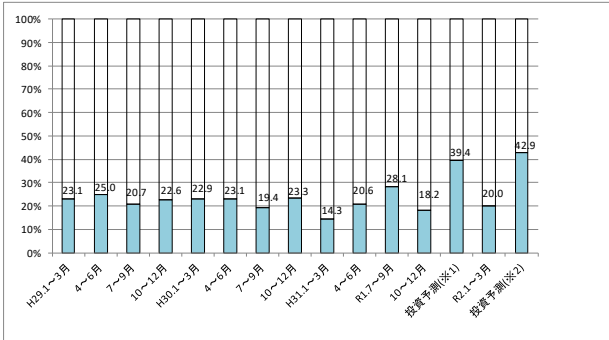
参考図 設備投資の推移(建設・土木業)



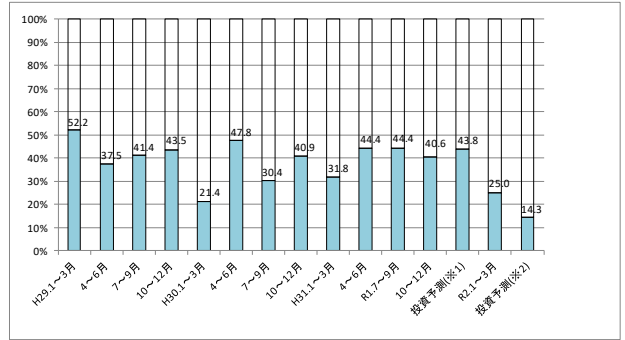
参考図 設備投資の推移(飲食業)



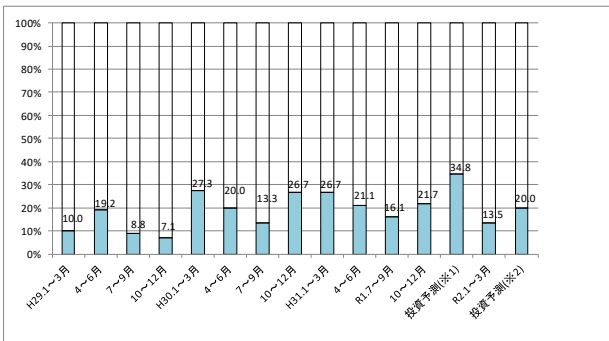
参考図 設備投資の推移(製造業)



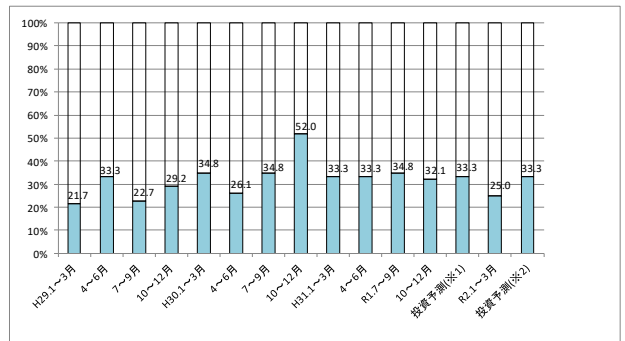
参考図 設備投資の推移(旅館業)



参考図 設備投資の推移(卸売・小売業)



参考図 設備投資の推移(その他)



景気動向調査結果業種別集計表

令和2年1月～3月期

(単位：%)

項目	比較区分	状況	産 業 全 体	建 設 土 木	製 造	卸 ・ 小 売	飲 食	旅 館	そ の 他
販売高	(今期) 前年同期と比べて	10%以上増加	4.9	2.9	14.3	5.3	0.0	0.0	4.0
		3%以上10%未満増加	7.1	11.8	8.6	2.6	0.0	6.9	12.0
		横ばい	14.2	35.3	11.4	18.4	0.0	0.0	12.0
		3%以上10%未満減少	24.6	38.2	11.4	31.6	22.7	10.3	32.0
出荷額	(今期) 前期と比べて	10%以上増加	49.2	11.8	54.3	42.1	77.3	82.8	40.0
		3%以上10%未満増加	2.2	2.9	2.9	2.6	0.0	0.0	4.0
		横ばい	7.1	8.8	8.6	7.9	4.5	3.4	8.0
		3%以上10%未満減少	21.9	38.3	19.9	23.7	18.3	6.9	20.0
工事高	(今期) 前期と比べて	10%以上増加	25.1	41.2	14.3	31.6	22.7	6.9	32.0
		3%以上10%未満増加	43.7	8.8	54.3	34.2	54.5	82.8	36.0
		横ばい	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
		3%以上10%未満減少	6.5	17.6	8.6	5.4	4.2	0.0	0.0
景気の動向	(今期) 前期と比べて	横ばい	21.2	41.2	14.3	21.7	8.3	6.9	32.0
		やや上昇した	26.1	29.4	20.0	35.1	37.5	6.9	28.0
		やや下降した	45.7	11.8	57.1	37.8	50.0	86.2	36.0
		下降した	1.1	0.0	0.0	0.0	4.2	3.6	0.0
自社の景気	(来期見込) 今期と比べて	上昇する	4.9	5.9	0.0	10.5	0.0	7.1	4.0
		やや上昇する	20.7	41.1	20.0	21.1	4.1	0.0	32.0
		横ばい	19.0	26.5	17.1	26.3	12.5	3.6	24.0
		やや下降する	54.3	26.5	62.9	42.1	79.2	85.7	40.0
雇用人員	(今期) 今期水準	過剰である	10.6	0.0	15.2	2.7	8.7	32.1	8.0
		やや過剰である	19.6	3.0	18.2	21.6	26.1	32.1	20.0
		適正である	47.4	60.6	42.4	64.9	39.2	28.7	40.0
		やや不足している	16.8	30.3	24.2	8.1	13.0	0.0	24.0
(来期予想) 来期水準	不足している	過剰となる	5.6	6.1	0.0	2.7	13.0	7.1	8.0
		やや過剰となる	15.6	3.0	20.6	5.4	21.7	35.7	12.0
		適正である	20.0	15.2	20.6	16.2	21.7	32.1	16.0
		やや不足する	44.4	51.5	41.2	70.3	30.5	21.5	40.0
設備投資	(今期) 今期実績	不足する	15.0	24.2	17.6	5.4	17.4	3.6	24.0
		設備投資した	5.0	6.1	0.0	2.7	8.7	7.1	8.0
		設備投資していない	22.8	38.2	20.0	13.5	13.6	25.0	25.0
		設備投資していない	77.2	61.8	80.0	86.5	86.4	75.0	75.0
資金繰り	(今期) 前年同期と比べて	〃を計画している	27.0	30.3	42.9	20.0	17.4	14.3	33.3
		〃を計画していない	73.0	69.7	57.1	80.0	82.6	85.7	66.7
購入価格、仕入価格等	(今期) 前年同期と比べて	楽になった	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや楽になった	3.8	11.8	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0
		横ばい	37.4	70.6	25.7	55.2	17.4	10.7	29.2
		やや苦しくなった	25.8	14.7	28.6	21.1	39.1	21.4	37.5
原材料購入	(今期) 前期と比べて	苦しくなった	33.0	2.9	37.1	23.7	43.5	67.9	33.3
		楽になった	0.5	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや楽になった	2.2	8.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
		横ばい	39.6	73.6	25.7	57.9	21.8	14.2	29.2
購入価格、仕入価格等	(今期) 前期と比べて	やや苦しなくなった	25.3	14.7	31.4	23.7	30.4	17.9	37.5
		苦しなくなった	32.4	2.9	37.1	18.4	47.8	67.9	33.3
		上昇した	6.1	2.9	11.8	2.6	4.5	7.1	8.7
		やや上昇した	33.0	55.9	44.1	28.9	36.4	7.1	17.4
購入価格、仕入価格等	(今期) 前期と比べて	横ばい	48.6	32.4	38.2	55.3	50.0	60.8	60.9
		やや低下した	4.5	5.9	0.0	7.9	0.0	7.1	4.3
		低下した	7.8	2.9	5.9	5.3	9.1	17.9	8.7
		上昇した	4.5	0.0	8.8	2.6	4.5	7.1	4.3
購入価格、仕入価格等	(今期) 前期と比べて	やや上昇した	26.3	41.2	29.4	26.3	27.3	10.7	17.4
		横ばい	58.6	50.0	55.9	60.6	63.7	57.2	69.6
		やや低下した	2.8	2.9	0.0	7.9	0.0	3.6	0.0
		低下した	7.8	5.9	5.9	2.6	4.5	21.4	8.7

【参考資料】

工業指標

(単位:件,人,万円)

区 分	22年	24年	25年	26年	28年
事業所数 (指数)	222 (100)	210 (94)	201 (90)	195 (87)	183 (82)
従業者数 (指数)	5,347 (100)	5,439 (101)	5,504 (102)	5,267 (98)	5,330 (99)
製造品出荷額等 (指数)	10,355,962 (100)	11,898,399 (114)	12,042,054 (116)	12,374,170 (119)	14,709,104 (142)

(指数:平成22年=100)

工業統計

商業指標

(単位:店,人,百万円)

区 分	26年	27年
商店数	1,414 (100)	1,428 (100)
従業者数	7,820 (100)	8,006 (102)
商品販売額	207,059 (100)	226,265 (109)

商業統計、経済センサス

月別観光入込数(高山市全域)

(単位:人)

	観 光 入 込 数			
	R2年	31年	30年	29年
1月	439,000	388,000	378,000	402,000
2月	241,000	306,000	296,000	285,000
3月	133,000	263,000	288,000	303,000
4月		556,000	533,000	608,000
5月		592,000	515,000	590,000
6月		231,000	227,000	229,000
7月		281,000	243,000	291,000
8月		469,000	442,000	465,000
9月		343,000	297,000	331,000
10月		570,000	524,000	501,000
11月		435,000	401,000	354,000
12月		299,000	298,000	264,000
累計	813,000	4,733,000	4,442,000	4,623,000

観光課資料

有効求人倍率(飛騨管内)

	有効求人倍率	
	R 2 年	3 1 年
1月	1.68	1.38
2月	1.38	1.46
3月	1.35	1.57
4月		1.66
5月		1.66
6月		1.77
7月		1.80
8月		1.87
9月		1.84
10月		1.73
11月		1.68
12月		1.86

高山公共職業安定所資料

月別観光入込数(高山地域)

(単位:人)

	観光入込数	
	R 2 年	3 1 年
1月	298,000	226,000
2月	155,000	210,000
3月	66,000	199,000
4月		512,000
5月		538,000
6月		187,000
7月		178,000
8月		286,000
9月		248,000
10月		543,000
11月		410,000
12月		290,000
累計	519,000	3,827,000

観光課資料